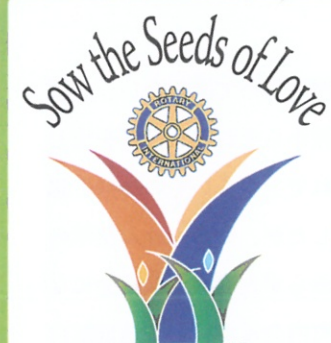




三條北ロータリークラブ週報

慈愛の種を 播きましょう

例会日
2002. 8. 20
累計 No 766
当年 No 7

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル 第2560地区ガバナー 佐野 孝
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560sano/>

会長/梨木 建夫
幹事/五十嵐 茂
SAA/佐藤 弘志

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三條ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三條市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事: 杉山アシスタントガバナー公式訪問「クラブ協議会」

出席: 本日の出席 59名中 40名

先々週の出席率 59名中 50名 84.75% (前年同期77.97%)

先週のメイクアップ: 8月12日三條南RCへ 石川勝行さん、青木省一さん、安田貞夫さん
本間建雄美さん、高橋彰雄さん、柄沢憲司さん

14日三條RCへ 安田貞夫さん、石川勝行さん、佐藤文夫さん

19日三條南RCへ 安田貞夫さん、石川勝行さん、高橋彰雄さん

西村 護さん、樋口金占さん

本間建雄美さん、青木省一さん

ビジター: 加茂RCより 斎藤実さん

三條RCより 清水良一さん

三條南RCより 佐々木常行さん、葦沢喜一郎さん、田中久作さん

草野恒輔さん

第13日記帳 三條RC 加藤紋次郎さん

三條南RC 住谷哲雄さん、草野恒輔さん、近藤鉄也さん

坂井範夫さん、平松修之さん

ゲスト: 第2560地区第四分区アシスタントガバナー杉山太三郎様 (巻RC)

会長挨拶: 梨木 建夫

地域コミュニティについて少々。ある町内会の話ですが何処とは申し上げませんが。長年のと申しますか、積年の問題点があり仲々うまくいってないお話です。7~8年に渡り執行部と反対派(敢えて仮にそう呼ばせてもらいます)が対立しており、その仲裁をしようと中に入った訳ですが、いつの間にか反対派の代表にさせられてしまい、名前だけを貸してくれば全てを我々がやるからと言うことであれよあれよという間のたちまちのうちに祭り上げられてしまいました。



これではいかんという事で執行部と反対派を集めて話し合い、高橋市長まで中に入ってもらい、執行部と反対派からそれぞれ役員を出し合い、新しい組織役員が決まりました。これで上手くいくのかなと思って2年の任期が終わり、総会が開かれましたが、いかんせん積年の対立ムードは根が深く、いっこうに直っておらず大変陰湿な総会になってしまいました。反対派は徹底的にその町内会長が嫌いで遺恨試合の様相で言うだけ言うとその場を退場しようとするし（後で聞いた話ではその人は区費を1円も納めていなかったということです）。双方

の中へ入って双方の話を聞いて気づいたのですが双方とも欠点だらけで、それに気づかず、お互いの悪い部分だけをほじくりかえしてなすりあいをしている訳です。その上年輩者特有の意固地さも手伝って、ガンとして自分の方が正しいと信じている訳です。これでは中へ入ってたまったものではありません。当分この遺恨試合は続きそうです。ですからほんと困りまして抜け出したい心境ですが乗りかかった舟ですので何とか上手く舵をとって、まとめていかなければと思って努力はしておるのですが……。誰か良い知恵を貸してください。／

願わくば仲良く暮らしていきたいものですし、十人十色の考え方や意見、生き様は協調の御旗のもとにオブラードに包み、戦は避けて平和におだやかにが万人の願いではないでしょうか!?皆さんはいかがお考えでしょうか？

幹事報告： 五十嵐幹事

- ・新潟県共同募金三条支会より 共同募金会三条支会委員の委嘱について（梨木会長）
- ・五泉RCより 40周年記念誌送付について
- ・米山梅吉翁写真集出版会より 「人物写真米山梅吉翁 限定永久保存版」のご案内
- ・新世代奉仕大委員長より インターアクト年次大会協力の御礼
- ・佐野ガバナーより 国際奉仕フォーラム開催のお知らせ（外山委員長出席）
日時 2002年9月28日（土）13：00～
会場 万代シルバーホテル
- ・雪国魚沼RCより 40周年記念大会の御案内
日時 平成14年11月17日（日）午後1時から
会場 NSPAニューオオタニ
- ・三条おやこ劇場より 「第2回良寛さまと、あ・そ・ぼ。／」祭り応援のお願い
- ・財団地区委員長より 暑中お見舞いととともに寄付明細が届いています
- ・杉山AGより 第2回会長幹事会のご案内

日時 平成14年8月23日（金）17：00～

会場 佐野ガバナー事務所

バナーの要請として会員増強に対しては、1クラブ5名増をお願いしたい。財団は26万5千ドルを達成して欲しい。米山奨学に対しては17,500円ということですが、18,000円の目標ですのでよろしくをお願いしたい。地区大会にしましても60%の出席をお願いしたいと言うことでございます。地区大会は何をすべきか。会則の中で項目を開きますと最低2日間、最高2日間と言う規約も載っております。その中で何をすればよいのか。たとえばRI会長代理の講話を頂くとか、RIの現状報告の時間を設けるとか、次年度のガバナーノミニニーの発表とか。これが地区大会の意義だそうです。

会員の声： 今年のお盆 米山 忠俊

お盆も終わり今日から又普段の日常生活に戻って休み明けの仕事が始まりました。

今年のお盆も県内外から親戚が集まり、先祖を供養したり偲んだり、それぞれの近況を語り合ったりして時間の過ぎるのも忘れて何年に一度の再会を喜び合いました。今年話題は明るい話が少なく、帰ってきた人達もリストラ、倒産に関係し経済の厳しい状況下、苦労の様子で、聞いてみると田舎ばかりでなく都会もどこも景気が悪くなって深刻な問題のようだった。いつのまにか親族の集まりの中心は我々中高年の従兄弟年代で、おじ、おばと甥、姪の間に完全に中心世代になっている。その我々は今は人生の転機で日常生活の煩雑さに流されながら自分の生活を振り返る、お盆は絶好の機会でもあった。

仕事や家庭や子供のことでストレスに追われる中高年も仕事の肩書きや父親などという社会的な役割を忘れ、1個の人間に戻って人生の来し方、行く末を考えたらどうだろう。新聞のコラムである医師が「人は人生が昨日から今日、明日へと延々と伸びる1本の線のようなものと思っている。その線のずっと先に死があるというような。しかし実際の人生は1枚の紙の表裏のようなものではないか。いまは表を向いているが、何かの拍子に裏返るとそれが死であるような」何があっても不思議ではない年頃、状況、時代を迎えたら「楽しみや心に秘めた計画があるならば先延ばししないですぐ実行に移すことが大切である。」確かに将来の楽しみを胸に秘めて今の苦しみに耐えるというのはある意味では健全な人生観かもしれない。だが先延ばししない人生はいつ裏返るかもわからない紙のような人生を生きる上で、最も後悔の少ない方法かもしれないと今年のお盆は実感しました。

8月27日例会： 卓話「在宅介護について」（有）きゃすと代表取締役 伊藤清様

9月3日例会： 「新世代の為の月間」卓話 三条市教育委員会 学校教育課長 樋浦 貞吉様

9月11日例会： （水）例会日変更 ガバナー公式訪問 於 饒心亭 おゝ乃

14:30～15:30例会・16:00～18:00歓迎会

9月17日例会： IM報告会

9月24日例会： 卓話「簡単な韓国語講座」林慈瑛（斉藤慈瑛）様

10月1日例会： ライラ研修報告会

10月8日例会： 「職業奉仕月間」職場例会 （株）ハーモニック様